

ドライビングレッスン事業から見える高次脳機能障害者の運転可能性

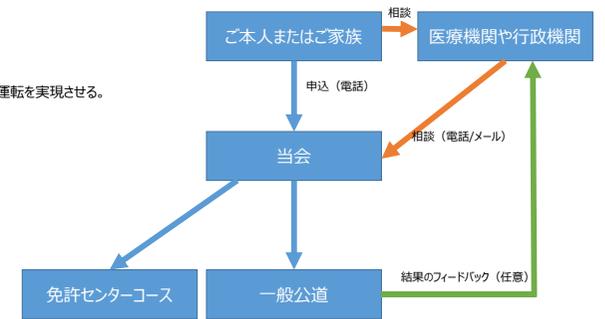


ドライビングレッスン事業について 1

目的

- ・ 運転再開、スタート直後に事故を起こすドライバーは一定数おり、その原因として、以下のような要因が考えられます。
- ・ 「運転中の補助装置等の不適切な操作や未熟さ」
- ・ 「運転中の座位保持に関するもの」
- ・ 「長期入院等による体力低下」
- ・ 「認知検査で現れない障害」

これらの要因をクリアにすることで、安全な運転を実現させる。



免許センターのコース開放

- * 毎月1回以上、土日の両方、またはいずれか。
- * 1種免許取得3年以上の同乗者。
- * 自家用車。または教習車の貸し出しがある場所もある。
- * 東京周辺では50分3,000円程度。

別紙に都道府県別の実施状況と予約先電話番号が記載されています。なお、自治体によっては本事業を行っていないところもあります。

A4サイズで別紙に収録されています。➡

都道府県	コースを開放している運転免許試験場等	受付電話番号
北海道	札幌運転免許試験場	011-499-8044
	旭川運転免許試験場	0152-421-2921
	釧路運転免許試験場	0154-51-2429
	帯広運転免許試験場	0154-51-5913
青森県	青森運転免許試験場	0172-32-2470
	弘前運転免許試験場	0173-36-7900
	八戸運転免許試験場	0172-82-9022
	三好運転免許試験場	0172-82-9022
岩手県	盛岡運転免許試験場	019-481-1251
	奥州運転免許試験場	022-223-1130
	水沢運転免許試験場	019-398-5045
	山形運転免許試験場	024-941-2100
秋田県	秋田運転免許試験場	023-613-3088
	大館運転免許試験場	011-6717-3056
	横手運転免許試験場	027-753-4920
	鹿角運転免許試験場	0248-142-7429
山形県	山形運転免許試験場	095-362-3466
	尾花沢運転免許試験場	025-228-2000
	新庄運転免許試験場	025-256-2000
	酒田運転免許試験場	025-258-2000
福島県	福島運転免許試験場	024-251-4955
	郡山運転免許試験場	024-251-4955
	会津運転免許試験場	024-251-4955
	いわき運転免許試験場	024-251-4955
茨城県	水戸運転免許試験場	028-237-4811
	土浦運転免許試験場	071-530-1230
	龍崎運転免許試験場	075-841-6145
	大宮運転免許試験場	06-4999-8040
栃木県	宇都宮運転免許試験場	070-312-1230
	日光運転免許試験場	0744-24-6249
	鹿沼運転免許試験場	073-473-0110
	宇都宮運転免許試験場	0138-22-6100
群馬県	高崎運転免許試験場	0852-38-6256
	前橋運転免許試験場	0859-22-7900
	桐生運転免許試験場	082-441-7900
	前橋運転免許試験場	084-591-2925
埼玉県	熊谷運転免許試験場	0485-70-2100
	さいたま運転免許試験場	049-381-4026
	高崎運転免許試験場	028-893-1244
	浦和運転免許試験場	048-274-6100
千葉県	千葉運転免許試験場	043-291-2220
	船橋運転免許試験場	0593-52-2120
	流山運転免許試験場	059-223-9119
	大宮運転免許試験場	097-524-1410
東京都	品川運転免許試験場	03-5721-9100
	目黒運転免許試験場	03-5721-9100
	目黒運転免許試験場	03-5721-9100
	目黒運転免許試験場	03-5721-9100

ドライビングレッスン事業について 2

対象者

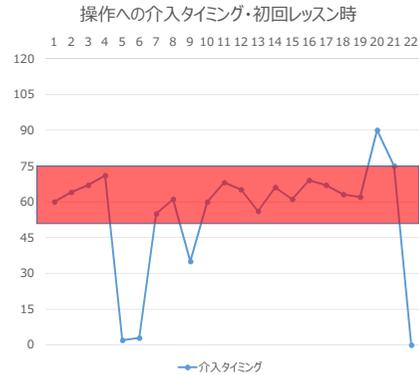
- ・ 肢体不自由（車いすユーザーや義足や義手装着者、片麻痺、著しい筋力低下等）
- ・ 認知機能障害（高次脳機能障害やその他の認知症）
- * その他の認知症とは、アルツハイマー病、ピック病、レビー小体型認知症以外を言う、道路交通法上の定義

- ・ 原則1時間（体調などにより最大2時間）
- ・ 基本は当事者の意向を踏まえたコース設定（車庫入れ中心・特定の目的地・高速道路・不安の解消・今後の運転継続の可否判断など）
- ・ 使用車両 自家用車もしくはレンタカー
- ・ レッスンでの確認事項（運転中の座位保持・運転補助装置の使い方・運転行動全般）
- ・ 安全に運転できる時間
- ・ 既設補助装置の操作方法とよりよい装置の提案
- ・ 障害による影響
- ・ 車種を選択
- ・ 今後の運転の可否
- ・ 今後の練習の方法

レッスン実施概要

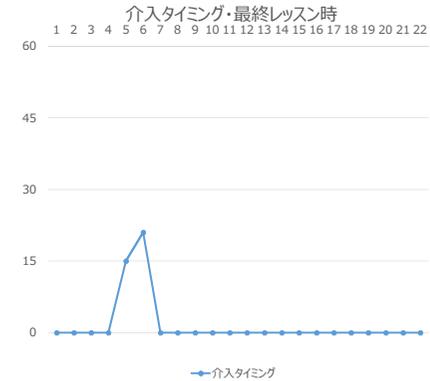
2017年1月～12月までに実施した脳卒中後遺症ドライバーのレッスン実績

人数	22名
性別	男性20名 女性2名
年齢層	40代～60代 70歳以上1名
高次脳機能障害の有無	あり 19名 無し 3名 注意・半側空間無視・記憶・遂行等
肢体不自由の部位	右片麻痺 4名 左片麻痺 17名 麻痺なし 1名
レッスン回数	平均 2, 5回 最低 1回 最高 5回



レッスン実施概要

2017年1月～12月までに実施した脳卒中後遺症ドライバーのレッスン実績



レッスン動画

・事例紹介

- ①40代男性・右片麻痺
- ②40代女性・脳出血・右片麻痺（左アクセル1）
- ③40代女性・右麻痺（左アクセル2）
- ④40代男性・脳出血・注意障害・半側空間無視・左片麻痺
- ⑤50代男性・半側空間無視
- ⑥60代男性・脳出血・言語障害・左片麻痺
- ⑦60代女性・脳出血・右片麻痺（左アクセル3）

安全運転を阻害する要素

解決方法

- ・長時間の運転 → 運転時間の制限
- ・筋力の低下 → 体調不良時の運転中止
- ・座位保持 → 座位保持への対処
- ・補助装置の使い方 → 補助装置への慣熟
- ・訓練不足 → 筋力トレーニング
- 運転訓練

訓練こそがリハビリテーションの原点ではないか？

まとめ

- 一般的に運転不可と認識されている認知機能障害であっても運転可能性がある
- 机上検査やシミュレータ等では認知機能に問題が無くても、実車運転で問題が露呈するケースがかなり多数ある
- 運転時間と認知機能の関係
- 認知機能障害と肢体不自由の重複
- 運転補助装置類の操作についての練習不足
- 運転中の座位保持の重要性
- 長期入院による体力低下

脳卒中脳外傷の場合は、認知機能の低下と肢体不自由が重複していると考える